

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-505813(P2001-505813A)

【公表日】平成13年5月8日(2001.5.8)

【出願番号】特願平10-519735

【国際特許分類第7版】

B 0 1 D 53/04

A 6 2 B 7/10

B 0 1 D 53/14

B 0 1 J 20/04

B 6 3 C 11/24

【F I】

B 0 1 D 53/04 C

A 6 2 B 7/10

B 0 1 D 53/14 A

B 0 1 J 20/04 B

B 6 3 C 11/24

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月20日(2004.10.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年10月20日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第519735号

2. 補正をする者

名称 ゴア エンタープライズ ホールディングス,
インコーポレイティド

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正します。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



方 式 査 査



請求の範囲

1. 自蔵呼吸装置用ガス吸着リブリーザ装置であって、
空気透過性であって耐液水性であるシート内にシールされたガス吸着材料と、
キャニスタ本体とを具備し、
前記ガス吸着材料と前記シートとは、前記キャニスタ本体を通る空気の流れが
前記シートを通過して前記ガス吸着材料と相互作用し得るように前記キャニスタ
本体内に取付けられ、
水が前記キャニスタ本体を通過する時であっても、前記ガス吸着材料が前記キャ
ニスタ本体から移動することが、前記シートにより阻止される、リブリーザ装
置。
2. 前記ガス吸着材料と前記シートとが、前記キャニスタ本体内への取付けの
準備のために、カートリッジに予め成形されている請求項1に記載のリブリーザ
装置。
3. 前記シートが多数の層状に配置され、空気が流れるためのギャップがそれ
らの層の間に設けられている請求項1に記載のリブリーザ装置。
4. 前記空気が流れるためのギャップが、前記シートの層の間に取付けられた
スクリーンにより設けられている請求項3に記載のリブリーザ装置。
5. 前記ガス吸着材料が前記シート内に埋設されている請求項1に記載のリブ
リーザ装置。
6. 前記ガス吸着材料と前記シートとがカートリッジ状に巻き付けられている
請求項1に記載のリブリーザ装置。
7. 前記カートリッジが収縮包囲体により包囲されている請求項6に記載のリ
ブリーザ装置。
8. 前記シートが微多孔性膜内にシールされた充填剤入ポリマーを有する請求
項1に記載のリブリーザ装置。
9. 前記微多孔性膜が延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを有する請求項8
に記載のリブリーザ装置。
10. 前記シートがポリエチレンを有する請求項1に記載のリブリーザ装置。
11. ポリエチレン含有率が0.6重量%と4重量%との間にある請求項10

に記載のリブリーザ装置。

12. 前記吸着材料が水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化リチウム (LiOH) 及びそれらの混合物からなる群から選択される請求項1に記載のリブリーザ装置。

13. 拡散パネルを有する請求項1に記載のリブリーザ装置。

14. 前記シートが多数の層状に配置され、
少なくとも一つの分離用要素がそれらの層の間に設けられている請求項1に記載のリブリーザ装置。

15. 前記分離用要素の高さに対する幅の割合が2:1よりも大きい請求項14に記載のリブリーザ装置。

16. 前記分離用要素がその中に吸着剤を含む請求項14に記載のリブリーザ装置。

17. ガス吸着材料を担持するためのキャニスタ本体を使用する自蔵呼吸装置用ガス吸着リブリーザ装置であって、

空気透過性であって耐液水性であるシート内にシールされたガス吸着材料を具備し、

前記ガス吸着材料と前記シートとが、前記キャニスタ本体内に容易に取付けられるようにカートリッジ状に予め形成され、

前記カートリッジは、前記キャニスタ本体を通る空気の流れが前記シートを通じて前記ガス吸着材料と相互作用し得るように、前記ガス吸着材料及び前記シートの向きを前記キャニスタ本体により定めている、リブリーザ装置。

18. 水が前記キャニスタ本体を通過する時であっても、前記キャニスタ本体から前記ガス吸着材料が移動してしまうことが、前記シートにより阻止される請求項17に記載のリブリーザ装置。

19. 前記シートが複数の層状に配置され、空気が流れるためのギャップがそれらの層の間に設けられている請求項17に記載のリブリーザ装置。

20. 前記空気が流れるためのギャップが、前記シートの層の間に取付けられたスクリーンにより設けられる請求項19に記載のリブリーザ装置。

21. 前記ガス吸着材料が前記シート内に埋設されている請求項17に記載の

リブリーザ装置。

22. 前記ガス吸着材料と前記シートとがカートリッジ状に巻き付けられている請求項17に記載のリブリーザ装置。

23. 前記シートが少なくとも一端にテーパ状テールを有する請求項22に記載のリブリーザ装置。

24. 前記カートリッジが収縮包囲体により包囲されている請求項22に記載のリブリーザ装置。

25. 前記シートがポリエチレンを有する請求項17に記載のリブリーザ装置。

26. 前記ポリエチレン含有率が0.6重量%と4重量%との間にある請求項25に記載のリブリーザ装置。

27. 前記吸着材料が、水酸化カルシウム、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化リチウム (LiOH) 及びそれらの混合物からなる群から選択される請求項17に記載のリブリーザ装置。

28. 前記ガス吸着材料が微多孔性膜内にシールされている請求項17に記載のリブリーザ装置。

29. 前記微多孔性膜が延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを有する請求項28に記載のリブリーザ装置。

30. 拡散パネルを有する請求項17に記載のリブリーザ装置。

31. 前記シートが複数の層状に配置され、
少なくとも一つの分離用要素がそれらの層の間に設けられている請求項17に記載のリブリーザ装置。

32. 前記分離用要素の高さに対する幅の割合が2:1よりも大きい請求項17に記載のリブリーザ装置。

33. 前記分離用要素がその中に吸着剤を有する請求項31に記載のリブリーザ装置。